

## 我が国の産業生産性をいかにして向上させるか

FPD(Flat Panel Display) 技術コンサルタント

太田 隆司 氏



演者は日立製作所、サムスン電子さらに鴻海精密工業においてディスプレイの製品差別化、生産技術イノベーションで生産力の限界突破に取り組みました。これらのイノベーションを強力に支援してきた立場から、一人負けしているような日本の産業競争力低下の原因、負の材料そして如何にしたら復活できるか、イノベーションの原動力を導く方策をお聞きしたいと思います。

ご興味やご関心のある方、新規事業化を考えていらっしゃる皆様、是非ご参加ください。

1. 日 時： 2021年10月16日(土) 14:00~16:50
2. 開催方式： ZOOM オンライン

### 3. 講演概要

電子産業ビジネスとその生産技術革新に、日立製作所で30年携わり、カラーブラウン管は世界6位・赤字で廃業真近であったが、生産革新により世界トップシェアにし、製造設備をRCA、トムソン等世界8ヶ国12社に販売した。

その後、2002年に韓国サムスン電子に移って10年、基板の大型化、液晶テレビ市場を開拓、世界トップシェアとした他、有機ELで生産立ち上げに関与、ギャラクシーを世界トップとする、当時の勢いある技術改革の現場に立ち会うことが出来た。

「1国の繁栄はその優れた生産力にかかっている」とMIT産業生産能力調査委員会が「Made in America」の中で述べている。歴史的に競争力のない国の製品は競争力がある国の製品にとって代わられていく。

農業でも、日米から中国へ、そして中国から東南アジア、インド、アフリカへと生産優位が移っており、今や日本はこれらの諸国から農産物を輸入している。

電子産業では、米国から日本・台湾・韓国へ、そして今や中国に生産優位が移った。今話題の電気自動車(EV)も米国は世界トップシェアのテスラは中国上海で生産を行い、ベンツ・ルノー・ポルシェ等の欧州企業も皆上海で生産を行い世界に販売している。

これにたまたかねた米国は、バイデン大統領が企業税を上げ、半導体では日本の国家予算の50%、55兆円を投じ、37%シェアから12%シェアに落ちた米国製半導体シェアを伸ばそうとしている。また、カーボンゼロ発電、EVのインフラに165兆円を投じ整備を図ろうとしている。

韓国は半導体の設備投資を最大20%税控除、更に5,000億円以上の補助を打ち出しスマホ用のトップシェアを堅持しようとしている。

中国は悲願の半導体を国産化するためにサムスン、TSMCの工場誘致を無税化により進めている他、10兆円の資金を準備し、EV等日本が行っている自動車用半導体の生産を行おうとしている。

これらの動きに対し、日本の半導体再生基金の規模は2,000億円に留まり、彼我の差は大きい。

輸出は世界で伸びる製品を手掛けねばならない。台湾が「ローテクは重税、ハイテクは税控除」とし、韓国が「半導体・有機EL・バッテリー以外は捨てる」として伸びてきたように、日本も「伸ばす産業・製品の集中と選択」が必要である。

現在日本政府が進めようとしている2,000億円の資金の中でいかに生産性向上策を図るかが当面のポイントとなる。本講演では、①半導体、②ゼロカーボン発電、③EVについて日本の再生策を検討したい。

#### 4. 演者略歴

1972年 東京都立大学大学院工学研究科工学修士  
1972年 日立製作所入社、茂原工場生産技術部階級  
1992年 日立製作所生産技術研究所開発部長  
1994年 日立製作所電子デバイス事業部開発本部部長  
2000年 サムスン電子 LCD BU 技術顧問(常務、専務、顧問)  
2011年 鴻海精密工業顧問(社長待遇)  
2011年 中国政府認定高級技術專家

#### 【主要業績等】

[日立製作所] CRT 生産技術革新、CPT 及び CDT で世界トップシェア達成、CRT 製造プラント(製造原価 75%低減)を開発、RCA 他世界 8 ヶ国 12 社に販売。T F T 第 4 世代ライン(原価 30%低減を世界初構築、米 SID(サングァイル)、韓国 IMID(大邱)他で基調講演他  
[サムスン電子] TFT-LCD 第 7,8.5 世代ライン構築、TFT-LCD パネル世界トップシェア(月売上げ 2,300 億円)  
[鴻海精密工業] 有機 EL 第 8.5 世代ラインを計画

#### 5. 参加費：事前に [Peatix \(WEB チケット\)](#) でお支払いください。

- |                                                                             |         |
|-----------------------------------------------------------------------------|---------|
| ・ 科学技術者フォーラム(STF)会員、学生：                                                     | 1,000 円 |
| ・ 友好団体会員/メンバー、当セミナー元講師：                                                     | 1,500 円 |
| 経営支援 NPO クラブ、次世代農業フォーラム、シニアエキスパートフォーラム、<br>食品技術士センター、千葉県技術士会、BCC-NET、表界研 など |         |
| ・ 当セミナー元講師：                                                                 | 1,500 円 |
| ・ 一般：                                                                       | 2,000 円 |

#### 6. 参加申込の方法

- ・ 参加ご希望の方は、[こちら](#) からお申込みください。



- ・ 申込みは **10月13日(水) 23時** に締め切ります。
- ・ Peatix への入金を確認された方へは、順次受付メールをお送りいたします。また、ZOOM ミーティング名や URL、パスコード、手元資料などの案内は、開催前日の 15 日(金)までにメールで配信します。
- ・ 領収書の必要な方は、[こちら](#) から。
  - ※ Peatix 利用ができない、またはネット環境が使えない方は、セミナー担当へお気軽にご相談下さい。
  - ※ 講演中の画面撮影や録音などは、ご遠慮願います。

\*\*\*\*\*

NPO 法人 科学技術者フォーラム (STF)  
10 月度セミナー担当 後藤 幸子  
E-mail: sgotoh@jcom.home.ne.jp  
Mobile: 090-7241-3113  
URL: <https://stf.or.jp/>

\*\*\*\*\*